

ビス開始

ネットで受付

実行予算ソフトを活用

実行予算・工程管理システム「缶詰ドカン」シリーズのオンラインレンタルを展開するドット・コム・ドカン(石川県津幡町)は、土木・水道・造園工事の実行予算見積代行サービスをインターネット上で開始した。

積算ソフトからの単なる単価変換でなく、日々の進量歩掛をベースにして独自のコストコントロールが可能だ。資機材や労務工数などの総数量が目標数値となり、計算は、条件の選択によって瞬時に日進量を算出でき、現場の諸事担当者が求める計数

ム・ドカン

・進捗管理が同一基準で連携し、工事原価管理の基礎となる。

いるユーザーは、実行予算がバックアップデータの形式で送付され

るため、数字の再修正なども簡単。

それ以外のユーザーには郵送やFAX、PDF形式などで納品される。

代行サービス料

北陸地域総合経済動向(4月)

中部経済局北陸

パイプ美人(福井市菅谷2丁目)鈴木健治代表取締役らが取り組む超音波を用いた映像化事業が経済産業省近畿経済産業局の06年度地域新生事業(中小企業枠)に採択された。

事業内容は超音波による高温、高圧、濁水中の3次元映像化技術の実用化。管理法人(委託先)は財団法人新産業創造研究機構。事業費の補助や支援を受け、産学官が連携して推進していく。

リリカラは、7月発行の新見本帳「2006-2008 デコ」発売に先立ち、22日、金沢流通会館で新作発表会を開催

三菱電機は、作成中の製品詳細設計仕様書などを自動的にチェックし、確認すべき関連情報や注意事項などを設計者に提示、設計段階で品質を作りこむ「三菱設計品質向

上支援ソリューション」「第17回設計・製造ソリューション展」に展出する。

世界初の「知識表現技術」を用いた「設計書自動チェック機能」により、設計基準書や過去の不具合事例などの確認すべき情報を自動的に画面

表示、確認状況をレポートする。加えて、関連情報検索する時間が約400点を展示。商品

パイプ美人の超音波映像化

新生地

コンソーシアム事業採択

長年使用された井戸の地下水を復元させる洗浄技術の普及に力を注いでいる。同映像化事業により、温泉内部の確認に関する技術を確立したい意

作成中の設計書、自動チェック

造業向け



北陸圏へのご意見や行事・催し・話題の提供等はすべてのニュース速報は本社及び各支局へ。

本社
金沢市若草町2-42
TEL(076)241-8361㈹
FAX(076)248-3916番
富山支局
富山市丸の内2-5-16
TEL(076)492-6710㈹
FAX(076)492-6590番
高岡支局
高岡市野村550-1
TEL(0766)26-0581㈹
FAX(0766)26-0412番
新潟支局
新潟市東堀前通1-3-48
TEL(025)227-1765㈹
FAX(025)227-1764番
福井支局
福井市成和2-105
TEL(0776)24-7001㈹
FAX(0776)26-2108番
敦賀支局
敦賀市金山89-3-6
TEL(0770)23-2059㈹
FAX(0770)23-3860番

2日、新作発表会を開催する。新商品のコンセプトやファブリックのトレードなどを紹介する。場所は金沢市問屋町の金沢流通会館(金沢問屋センター)で、時間は午前1

0時から午後5時。新見本帳には、薄地の組み合わせが美しい「シードなどを紹介する。場所は金沢市問屋町の金沢流通会館(金沢問屋センター)で、時間は午前1

0時から午後5時。新見本帳には、薄地の組み合わせが美しい「シードなどを紹介する。場所は金沢市問屋町の金沢流通会館(金沢問屋センター)で、時間は午前1

0%削減である。このほか、「チェックリストやインポート商品を加えられた。発表会には新作充実した「SELECT」(セレシー)、「モダンな参考スペースも設けた。発表会には新作

ライフスタイルを全店防

炎品で提案する「M-F

RONT」など、国内外のトレンド商品を取りそ

れを基に、「チェック

知識作成機能」が、サ

バーに蓄積した既存の設

計書や不具合事例、部品

情報から部品名、材質な

どの用語を自動抽出。こ

れを基に、「チェックすべ

き項目を効率よく定義で

き。設計者の熟練度に依存せず、バテラン設計

者が保有するノウハウを

簡単な操作でルール化す

ることもできるため、2

007年問題への対応に

も役立つという。

システム価格は300

0万円から。うちパッケ

ージ価格は525万円。

販売目標は2年間で50

システムだ。

表示、確認状況をレポー

トする。加えて、関連情

報を検索する時間が約4

0%削減である。

このほか、「チェック

知識作成機能」が、サ

バーに蓄積した既存の設

計書や不具合事例、部品

情報から部品名、材質な

どの用語を自動抽出。こ

れを基に、「チェックすべ

き項目を効率よく定義で

き。設計者の熟練度に依存せず、バテラン設計

者が保有するノウハウを

簡単な操作でルール化す

ることもできるため、2

007年問題への対応に

も役立つという。

システム価格は300

0万円から。うちパッケ

ージ価格は525万円。

販売目標は2年間で50

システムだ。

表示、確認状況をレポー

トする。加えて、関連情

報を検索する時間が約4

0%削減である。

このほか、「チェック

知識作成機能」が、サ

バーに蓄積した既存の設

計書や不具合事例、部品

情報から部品名、材質な

どの用語を自動抽出。こ

れを基に、「チェックすべ

き項目を効率よく定義で

き。設計者の熟練度に依存せず、バテラン設計

者が保有するノウハウを

簡単な操作でルール化す

ることもできるため、2

007年問題への対応に

も役立つという。

システム価格は300

0万円から。うちパッケ

ージ価格は525万円。

販売目標は2年間で50

システムだ。

表示、確認状況をレポー

トする。加えて、関連情

報を検索する時間が約4

0%削減である。

このほか、「チェック

知識作成機能」が、サ

バーに蓄積した既存の設

計書や不具合事例、部品

情報から部品名、材質な

どの用語を自動抽出。こ

れを基に、「チェックすべ

き項目を効率よく定義で

き。設計者の熟練度に依存せず、バテラン設計

者が保有するノウハウを

簡単な操作でルール化す

ることもできるため、2

007年問題への対応に

も役立つという。

システム価格は300

0万円から。うちパッケ

ージ価格は525万円。

販売目標は2年間で50

システムだ。

表示、確認状況をレポー

トする。加えて、関連情

報を検索する時間が約4

0%削減である。

このほか、「チェック

知識作成機能」が、サ

バーに蓄積した既存の設

計書や不具合事例、部品

情報から部品名、材質な

どの用語を自動抽出。こ

れを基に、「チェックすべ

き項目を効率よく定義で

き。設計者の熟練度に依存せず、バテラン設計

者が保有するノウハウを

簡単な操作でルール化す

ることもできるため、2

007年問題への対応に

も役立つという。

システム価格は300

0万円から。うちパッケ

ージ価格は525万円。

販売目標は2年間で50

システムだ。

表示、確認状況をレポー

トする。加えて、関連情

報を検索する時間が約4

0%削減である。

このほか、「チェック

知識作成機能」が、サ

バーに蓄積した既存の設

計書や不具合事例、部品

情報から部品名、材質な

どの用語を自動抽出。こ

れを基に、「チェックすべ

き項目を効率よく定義で

き。設計者の熟練度に依存せず、バテラン設計

者が保有するノウハウを

簡単な操作でルール化す

ることもできるため、2

007年問題への対応に

も役立つという。

システム価格は300

0万円から。うちパッケ

ージ価格は525万円。

販売目標は2年間で50

システムだ。

表示、確認状況をレポー

トする。加えて、関連情

報を検索する時間が約4

0%削減である。

このほか、「チェック

知識作成機能」が、サ

バーに蓄積した既存の設

計書や不具合事例、部品

情報から部品名、材質な

どの用語を自動抽出。こ

れを基に、「チェックすべ

き項目を効率よく定義で

き。設計者の熟練度に依存せず、バテラン設計

者が保有するノウハウを

簡単な操作でルール化す

ることもできるため、2

007年問題への対応に

も役立つという。

システム価格は300

0万円から。うちパッケ

ージ価格は525万円。

販売目標は2年間で50

システムだ。

表示、確認状況をレポー

トする。加えて、関連情

報を検索する時間が約4

0%削減である。

このほか、「チェック

知識作成機能」が、サ

バーに蓄積した既存の設

計書や不具合事例、部品

情報から部品名、材質な

どの用語を自動抽出。こ

れを基に、「チェックすべ

き項目を効率よく定義で

き。設計者の熟練度に依存せず、バテラン設計

者が保有するノウハウを

簡単な操作でルール化す

ることもできるため、2

007年問題への対応に

も役立つという。

システム価格は300

0万円から。うちパッケ

ージ価格は525万円。

販売目標は2年間で50

システムだ。

表示、確認状況をレポー

トする。加えて、関連情

報を検索する時間が約4

0%削減である。

このほか、「チェック

知識作成機能」が、サ

バーに蓄積した既存の設

計書や不具合事例、部品

情報から部品名、材質な

どの用語を自動抽出。こ

れを基に、「チェックすべ

き項目を効率よく定義で

き。設計者の熟練